

留 学 報 告 書

記入日:2020年3月28日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 現地言語: 英語
留学期間	2019年8月～2020年3月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年3月27日
明治大学卒業予定年	2022年4月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input checked="" type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月中旬～3月下旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	0	0円	大学間協定のため、免除
宿舍費	1400\$	140000円	
食費	600\$	60000円	
図書費	0	0円	
学用品費	400\$	40000円	教科書、ペン等
携帯・インターネット費	40\$ per month	4000円	月々40ドル Verizon、基本は大学内のWi-Fiを活用
現地交通費	0	0円	大学内の寮に住んでいたため、基本はスケボー移動。外出の際はUberの活用(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1000\$	100000円	
被服費	300\$	30000円	
医療費	0	0円	
保険費	500\$	50000円	形態:アンセムのやつ
渡航旅費	1300\$	130000円	行きはアメリカン航空
ビザ申請費	100\$	10000円	
雑費	400\$	40000円	
その他	帰りの航空券 600\$	60000円	
その他		円	
合計	6880\$	688000円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:羽田空港 目的地:ロサンゼルス国際空港 経由地:なし 復路 出発地:ロサンゼルス国際空港 目的地:羽田空港 経由地:なし	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:アメリカン航空 料金:13万 復路 航空会社:デルタ航空 料金:6万 ∴合計:20万	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:スカイキャナー) <input type="checkbox"/> その他(_____)	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数2)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
大学の斡旋	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
International House は辞めたほうがいいです。寮費は高いうえに狭いです。ただみんなが集まるコモンルームは賑やかで、友達作りには最適かもしれません。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
ネット、ニュース	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
大学内で Wi-Fi が繋がらない所もあり、不便を感じる時があった。ただ、図書館やカフェはよく繋がる。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
キャッシュパスポートというプリペイドカード作り、日本で送金されたのをよく現地の銀行で引き出して使っていた。主にカード払いが主流だったのでそこまで現金は使わなかった。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
特にない。ただ物価が高いので、日本食が恋しいなら少し持っていく分にはいいと思う。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
13 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? なし	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Problems in International Social Conflict	国際関係学
科目設置学部・研究科	Liberal arts
履修期間	Fall 2019
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が2回
担当教授	Luka Wagner
授業内容	紛争、戦争問題等の原因と問題解決、各国の政治経済状況の理解
試験・課題など	主にレポート、クイズ、リーディング
感想を自由記入	内容は興味深く、面白かったですが、discussion のレベルが高かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Asian Eats	アジアンイーツ
科目設置学部・研究科	Liberal arts
履修期間	Fall 2019
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が2回
担当教授	Larry Hashima
授業内容	Asian countries の食べ物、食文化について理解、研究していく。
試験・課題など	レポート、クイズ、リーディング
感想を自由記入	日本の食文化(寿司)についても授業でやるので楽しいと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Interpersonal Communication Workshop	コミュニケーション英語
科目設置学部・研究科	Liberal arts
履修期間	Fall 2019
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	activity (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 60 分が 1 回
担当教授	Asin Rasoulpoor
授業内容	Interpersonal communication において必要なコミュニケーションの方法、自分を表現する方法等をアクティビティを通して学ぶ。
試験・課題など	テスト
感想を自由記入	これは金曜日にあった唯一の授業でアクティビティを通して学ぶのはまた違った授業だったので興味深かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Interpersonal communication	コミュニケーション英語
科目設置学部・研究科	Liberal arts
履修期間	Fall 2019
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	lecture(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 75 分が 1 回
担当教授	Dr. Jose Rodriguez
授業内容	Interpersonal communication の講義
試験・課題など	テスト、リーディング
感想を自由記入	これはシンプルにつまらなかった。また注意事項としてアクティビティとレクチャー合わせて単位が得られる。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

3) 就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

5) 進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	明治大学入学、普通に授業を受けつつ、留学することを視野に入れていたため、留学先協定プログラムについて調べていた。
8月～9月	夏休み
10月～12月	留学の協定校プログラムのための留学計画書等の作成、面接
2019年 1月～3月	留学協定プログラムの結果発表、留学先決定、ビザ取得、英語の勉強をより一層励む。
4月～7月	航空券の購入、留学先大学から連絡を受け、履修登録、寮決め、ミールプラン決めをオンラインで行う。
8月～9月	8月19日に渡航、今回は21日から入寮できたのでそれまでホテルに宿泊、オリエンテーション後に授業開始
10月～12月	ミッドターム、ファイナルをこなしつつ、冬休みに突入
2020年 1月～3月	春学期の開始、しかし、各国でコロナの流行のために大学の授業がオンラインに移行、全ての大学施設がクローズされ、実質的な閉鎖。寮からキックアウトされることが決まり、かつほとんどの留学生、現地生が帰国、帰宅したため、留学中断を決定。
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

カリフォルニア州立大学ロングビーチ校を選んだ理由として、2つ理由挙げられます。一つ目はより多種多様な人種が集まるカリフォルニア州に行きたかったからです。カリフォルニア州は他の州に比べて、様々な人種が集まり、様々な文化、考え方に触れることが出来ると思ったからです。二つ目は、天候が過ごしやすいからです。一見、変な理由に思えるかもしれませんが、個人的にカリフォルニア州の天候はすごく好きで、そんな中で過ごす留学生活は充実度が高くなると考えたからです。留学生活の総合的な振り返りとしては、「留学して良かった」の一言に尽きます。本当に留学して良かったと思います。ただ、今回は新型コロナウイルスのために留学を途中で断念せざるを得ない状況でした。それに関しては仕方ないと言えば仕方ありませんが、本当に悔しいですし、悲しかったです。もっと挑戦したかったですし、友達作りたかったです。授業ももっとやりたかったと思っています。これから留学するみなさんに伝えたいことは一点だけです。とにかく、留学生活を全力で楽しんでください。これだけです。今回のように急に留学を継続したいのにも関わらず、中断せざるを得ない状況に陥るかもしれません。自分がしたいことはできる限りやってみて、挑戦したいことはなんでもすべきだと思います。後悔しないように全力で楽しんでください。応援しています。